

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	病理組織検体の経年劣化に関する検討
	研究目的	手術切除された検体や生検検体は病理検査のためにホルマリンで固定しパラフィンに包埋されます（以下、パラフィンブロック）。パラフィンブロックは、解析技術の目覚ましい発展を受けて、病理検査のみならず、がんゲノム医療の遺伝子パネル検査はもとより、次世代シーケンサーを用いた網羅的な遺伝子解析など、様々な検査・研究の試料に使われるようになってきました。一方で、パラフィンブロックを作る際のホルマリンの種類や作り方、保管状況や経年劣化などが結果を大きく左右することが指摘されています。この研究では、神奈川県立がんセンターで手術を受けた患者さんのパラフィンブロックを対象として、そこから核酸（DNA、RNA）を抽出して、経年劣化が核酸の質と、これを用いた研究解析の結果に与える影響を調査します。調査は、共同研究する慶応義塾大学医学部病理学教室の研究室でも実施します。
	研究対象者	当センター病院で 2012 年 1 月から 2022 年 10 月までの間に、肺がん、大腸がん、乳がんの外科手術を受けられた患者さんで、がん研究への協力に書面で同意して頂いた方、計 42 名。
	研究期間	西暦 2022 年 12 月 19 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> 病理診断報告書 <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	宮城洋平
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科、臨床研究所がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	慶応義塾大学医学部病理学教室 金井弥栄
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター・臨床研究所・佐藤慎哉 045-520-2222	